



2025年 5 月30日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ジ ー ニ ー
代 表 者 名 代表取締役社長 工藤 智昭
(コード番号：6562 東証グロース)
問 合 せ 先 上級執行役員(CFO)兼 菊 川 淳
投資戦略部部長
(TEL. 03-5909-8177)

**株式会社ジーニー、JAPAN AI株式会社、株式会社NEXYZ. Group、Lark Japan株式会社の
4 社が包括的業務提携を締結**

株式会社ジーニー（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：工藤 智昭、以下「当社」）は、株式会社NEXYZ. Group（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：近藤 太香巳、以下「NEXYZ. Group」）、Lark Japan株式会社（本社：東京都渋谷区、以下「Lark Japan」）、JAPAN AI株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：工藤 智昭、以下「JAPAN AI」）との間で、包括的業務提携契約を締結いたしましたので、お知らせいたします。

詳細につきましては、別紙「ジーニー、JAPAN AI、NEXYZ. Group、Lark Japan の4 社が包括的業務提携」をご参照ください。本件による、当社連結業績への影響は、軽微であると見込んでおります。

以上

ジーニー、JAPAN AI、NEXYZ. Group、Lark Japan の4社が包括的業務提携
～日本企業のAX/DX推進を共同支援～



株式会社ジーニー（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：工藤 智昭、以下ジーニー）は、株式会社 NEXYZ. Group（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：近藤 太香巳、以下 NEXYZ. Group）、Lark Japan 株式会社（本社：東京都渋谷区、以下 Lark Japan）、JAPAN AI 株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：工藤 智昭、以下 JAPAN AI）との間で、包括的業務提携契約を締結いたしました。

■業務提携の背景と目的

NEXYZ. Group の拡販力、Lark Japan のグローバルな技術力、ジーニー・JAPAN AI の国内企業に特化した開発力・販売力を活かしシステム連携および営業連携を強化することで、日本企業の AX 及び DX を包括的に支援してまいります。

■各社の役割

〈NEXYZ. Group〉

NEXYZ. Group は導入企業のニーズや課題を細かくヒアリングし、「Lark」のグローバル技術チーム（SFA/CRM）にフィードバックします。これにより企業や業界のニーズに応じた「Lark」の機能強化と最適化（ローカライズ）、ソリューション開発に貢献し、日本の DX 推進を加速させていきます。NEXYZ. Group はこれまで、11 万件以上の省エネ設備導入支援、7,000 件以上の広告クライアントへ

のプロモーション支援、3,000 サイトの EC 支援を初期投資 0 円で行ってきた実績があります。

〈Lark Japan〉

Lark Japan は統合ビジネスツールの提供と技術基盤の確立を担います。オールインワン型の業務コラボレーションプラットフォーム「Lark（ラーク）」は、チャット、カレンダー、ビデオ会議、ドキュメント、メール、ワークフロー、リレーショナルデータベース（RDB）、ノーコード連携基盤「AnyCross」を統合し、情報共有、業務管理から外部連携まで統合的にサポートします。すでに国内外の様々な企業に導入されており、その実績を活かして日本企業の DX 推進を支援します。

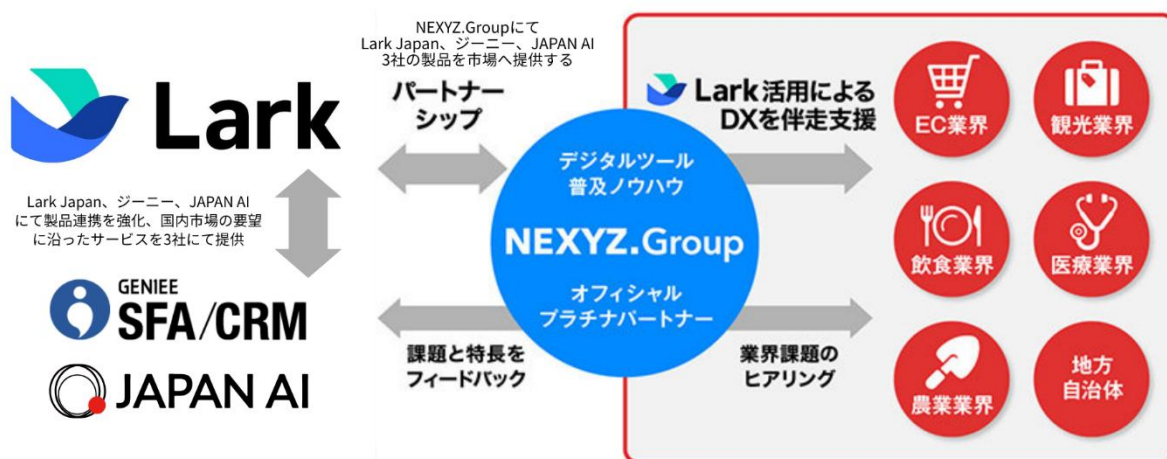
〈ジーニー〉

ジーニーは、自社の営業管理ツール「GENIEE SFA/CRM」およびグループ会社 JAPAN AI が提供する「JAPAN AI AGENT」と「Lark」との連携を強化します。今回の連携により、従来は単独で提供できなかったサービス範囲を拡大し、顧客の DX 推進を一層強化していきます。

〈JAPAN AI〉

JAPAN AI は AI 技術による業務自動化の実現を役割としています。設定した目標やゴールに対し、AI が自ら思考し、特定のタスクを実行する AI システム「JAPAN AI AGENT」を提供します。これにより日常的な資料作成などの手を動かすタスクを AI 社員が代替し、発生する様々なタスクを自動化することができます。独自の開発力を活かし、AI テクノロジーの側面からも DX 推進をサポートいたします。

日本企業の課題を整理し最適化されたDXシステムの提供を目的とし4社での連携を進める



■営業管理ツール「GENIEE SFA/CRM」

顧客管理・商談管理・データ分析機能等が一体となったクラウド型の国産 SFA/CRM です。純国産ツールのため日本のビジネスシーンに合わせたシンプルな機能で、ツール導入・運用の専門家がいなくても項目設定・レポート作成などを容易に行うことができます。定着率 99%の実績があり、ベンチャー企業から大手企業まで、幅広いお客様に高い営業改善環境をご提供しています。

URL : <https://chikyu.net/>

▶「GENIEE SFA/CRM」資料ダウンロードは[こちら](#)

■JAPAN AI AGENT

「JAPAN AI AGENT」は、日本企業で頻発する業務に最適化した AI エージェントを標準搭載し、企業の業務効率化を実現するサービスです。AI エージェントとは、特定の目標を達成するために、AI が必要なタスクを自律的に作成し、計画的に各タスクを実行するシステムです。

サービスサイト : <https://japan-ai.co.jp/agent/>

■NEXYZ. Group について

1990 年設立（1987 年創業）。初期投資 0 円の設備導入支援サービス「ネクシーズ ZERO」が CO₂排出削減に取り組むとし、2020 年環境大臣に「エコ・ファースト企業」の認定を受ける。「ネクシーズ・ゼロ Green Finance」は世界で最も歴史のある格付け機関ムーディーズ「Aaa (sf)」、国内初の R&I グリーンローン評価取得。メディア・プロモーション事業の電子雑誌や「アクセルジャパン」など展開。

■会社概要

社 名 : 株式会社 NEXYZ. Group

代 表 者 : 代表取締役 近藤 太香巳

本 社 : 東京都渋谷区桜丘町 20-4 ネクシーズスクエアビル

設 立 : 1990 年 2 月

資 本 金 : 2,365 百万円

事業内容 : エンベデッド・ファイナンス事業、メディア・プロモーション事業、女性向けセルフエステ「BODY ARCHI (ボディアーキ)」の運営、音楽フェスティバル「MUSIC CIRCUS」の主催、その他

U R L : <https://www.nexyzgroup.jp/company/profile.html>

■Lark Japan について

Lark は、あらゆるニーズに対応する 1 つのスイートで、チームの共同作業を可能にする次世代コラボレーションツールを特徴としています。チャットを起点に、メール・カレンダー・ビデオ会議・ドキュメント・ワークフロー・バックオフィス機能など、多数の頻用ツールを 1 つのプラットフォームに統合することで、より効果的なコラボレーションが実現できます。すべての機能が 1 つのア

プリに統合されており、Mac、Windows、iOS、Android で利用可能です。

■会社概要

社 名：Lark Japan 株式会社

本 社：東京都渋谷区渋谷 2-21-1 渋谷ヒカリエ 26 階

設 立：2022 年 7 月

資 本 金：8,000 万円

事業内容：DX プラットフォーム事業

U R L：https://www.larksuite.com/ja_jp

Lark Japan 公式 TikTok：

<https://www.tiktok.com/@larkjapan>

■JAPAN AI について

JAPAN AI 株式会社は「企業が 1 社に一つオリジナルの AI を持つ時代を創る。AI は働く人をサポートし、圧倒的な生産性を実現する」をビジョンに掲げ、AI に関連するプロダクトやサービス開発を行い、多様な業界や産業のさらなる発展に貢献していきます。

■会社概要

社 名：JAPAN AI 株式会社

代 表 者：代表取締役社長 工藤 智昭

本 社：東京都新宿区西新宿 6-8-1

設 立：2023 年 4 月

事業内容：人工知能の研究開発、人工知能に関するコンサルティングサービス

U R L：<https://japan-ai.co.jp/>

■ジーニーについて

ジーニーは、「誰もがマーケティングで成功できる世界を創る」、「日本発の世界的なテクノロジー企業となり、日本とアジアに貢献する」という 2 つの Purpose（企業の存在意義）のもと、企業の収益拡大・生産性向上など様々な課題解決につながるソリューションを開発・提供するマーケティングテクノロジーカンパニーです。

■会社概要

社 名：株式会社ジーニー

代 表 者：代表取締役社長 工藤 智昭

本 社：東京都新宿区西新宿 6-8-1 住友不動産新宿オークタワー5/6 階

設 立：2010 年 4 月

資 本 金：100 百万円（連結、2025 年 3 月末現在）

従業員数：877 名（連結、2025 年 3 月末現在）

(別紙)

海外拠点：米国、インド、シンガポール、ベトナム、インドネシア、UAE

事業内容：広告プラットフォーム事業、マーケティング SaaS 事業、海外事業、デジタル PR 事業

U R L：<https://geniee.co.jp/>

<本件に関する報道関係のお問い合わせ先>

株式会社ジーニー 広報担当